

度 138 km に到達。搭載された観測装置は全て正常に動作し、全てのデータが計画通り取得された。

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 1 月 10 日(水) ~ 平成 19 年 1 月 16 日(火))

平成 19 年 1 月 17 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

1 月 12 日(金)

- 第 3 回計画部会輸送系ワーキンググループ
【松尾委員長、青江委員、池上委員、森尾委員】

1 月 16 日(火)

- 第 1 回推進部会
【松尾委員長、青江委員、池上委員、野本委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

1 月 15 日(月)

- 観測ロケット S - 310 - 37 号機打上げ成功
【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】

独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、下部電離圏の高温層生成メカニズムの解明を目的とした観測ロケット S-310-37 号機を 1 月 16 日 11 時 20 分(日本時間)に内之浦宇宙空間観測所から打上げた。ロケットは発射後 184 秒で最高高

宇宙開発に関する海外の動向

1 月 10 日(水)

- 中国、月周回衛星の今年打上げを明言 【中】
1 月 8 日(月)、中国国防科学技術工業委員会の工程会議が開催され、中国の月探査プログラムについて、衛星打ち上げの具体的時期は、まだ確定していないとしながら、計画通り順調に進展しており、月周回衛星「嫦娥 1 号(Chang'e-1)」の打上げは今年実施される予定であると発表された。
- PSLV ロケット、地球観測衛星等の打上げに成功 【印】
1 月 10 日(水)3 時 53 分(世界標準時)、インド宇宙研究機関(ISRO)はサティッシュ・ダワン宇宙センターより PSLV ロケットを打ち上げ、地球観測衛星「Cartosat-2/IRS- A」、回収型衛星「SRE-1」、インドネシアの小型衛星「LAPAN-TUBSAT」、アルゼンチンの小型教育衛星「Pehuensat-1」の軌道投入に成功した。打上げ時の質量は「Cartosat-2/IRS- A」が 680 Kg、「SRE-1」が 550 kg、「LAPAN-TUBSAT」が 56 kg、「Pehuensat-1」が 6 kg。

1 月 12 日(木)

- 英国、月探査計画の検討を実施 【英】
1 月 10 日(水)、英国の素粒子物理・天文学研究会議(PPARC)は、2 件の月探査計画「MoonLITE」(月面へのペネト

レータ投下)及び「MoonRaker」(月着陸機による探査)のフィージビリティスタディを実施したと発表した。両計画の概要は以下の通り。

< MoonLITE >

- 4基のペネトレータを搭載した衛星を打ち上げ、月面にペネトレータを発射
- 月の裏側、極地域を含む広い範囲にペネトレータを投下し、月震観測、温度勾配計測のネットワークを形成
- 研究分野:月震、月内部の温度勾配、水及び有機物の検出、月面の化学分析
- 打上げ目標:2010年

< MoonRaker >

欧州の宇宙探査機初の軟着陸により、月面のダストや岩石を分析し、水や有機物の痕跡を探すことを目的とする。